みんなで餅つき

多摩小ばと保育園・地域の子育て情報

1月号 トムソーヤ

平成28年12月20日発行

年長さんが
鏡餅づくりに挑戦

園庭の柿の木も葉を落とし季節は冬へ。今年も残すところあと少しになりました。今年は新園舎への引っ越しから始まり、こばとCLUBも新しい環境の中で様々な活動を再開しました。「給食体験」「ベビーマッサージ」「園庭開放」「出前保育」「芋ほり」「観劇」と、多くの方に参加頂きありがとうございました。これからも皆さんが楽しく参加できるような活動を企画していきたいと思っています。

1月の予定

園庭開放

1月12日(木)・26日(木)

10:00～11:30

保育園のお友だちと遊びませんか？楽しく遊べる遊具が増えました。
事前申し込みはいりません

保育所体験(給食体験)

1月17日(火)11:00～11:50

保育園のお友だちと一緒のお部屋で、給食を食べてみませんか。自分でトレーを持ちながらのバイキング形式の給食です。初めて来園される方も大歓迎です。食材の注文など調理の準備がありますので、1週間前までに電話又は来園してお申し込みください。

前回の給食体験時のメニュー

ごはん
豚と野菜の炒め
きゅうりともやしのナムル
中華スープ
果物
お茶

子育てのワンポイント

「甘えさせてあげる」と
「甘やかす」　違いは？

「うちの子は甘えん坊で困っています。」という話を聞きます。『甘える』ということは困った事なのでしょうか？子どもたちが育っていく中では、「困った時」「不安な時」「悲しい時」「自信がない時」など様々な瞬間があります。そんな時は、誰でも優しく受け止めてくれる人がほしくなります。ただ優しく抱きしめてもらい、その時の気持ちに共感してもらうことで安心します。また「甘えさせてあげる」ことがとても大切だと言われています。「甘えさせてあげる」とは、スキンシップや態度で、「あなたのことを見ているよ、大好きだよ、大切だよ。」と安心感を伝えることです。大人の都合に合わせて、子どもの気持ちを物やお金で埋め合わせたり、子どもが自分でやるつもりでいることに対して大人が手を出してしまう「甘やかす」とは異なります。最近読んだ本の中に、「甘える壺」という言葉がありました。甘えを満たすことを繰り返していく営みを壺に見立て、人と関わっていく中でその壺が満たされ成長していく様子を壺に水が貯まっていくと例えていました。「信じて」「甘え」、「甘えさせてもらい」「信じてもらう」という繰り返しの中から、自分には価値があるから人に甘えさせてもらえる、人に信じてもらえるという思いが生まれてきます。「甘える壺」を幼い時期に満たしてもらうことで自己肯定感が育ち、自然に自立をし、思春期や大人になって何かつまずくようなことが起きても立ち直ることができるそうです。「甘えさせてあげることは自分の時間を相手に与えてあげること」とも……なるほどなと思いました。忙しい毎日の中ですが、子どもと1対1で向かい合う場面をたくさん作れるといいですね。そして「甘える壺」をいっぱいに満たしてあげましょう。

多摩小ばと保育園　こばとCLUB　八王子市石川町3279番地　℡042(642)9300　担当　尾崎